



Ideas & Chemistry

2014.11.4

2014年度第2四半期
決算補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

上期実績

- 営業利益は前年比20%減益
- フィルムで、新設備への移管および新製品拡大に伴う費用増。
加えて、包装用が夏場の天候不順の影響などで苦戦
- 新製品(コスモシャイン SRF・ナーブリッジ等)の拡販や海外展開進む

通期予想

- 下期は、フィルム部門他の回復、新製品の拡販効果により、
収益改善を見込むも、通期予想については下記の通り修正する

	13年度					14年度					直近見通し (2014/08)
			上期	下期				上期	下期(予)		
	1Q	2Q				1Q	2Q				
売上高	853	892	1,745	1,771	3,516	829	894	1,723	1,877	3,600	3,650
営業利益	52	61	113	97	210	40	50	90	130	220	240

(億円)

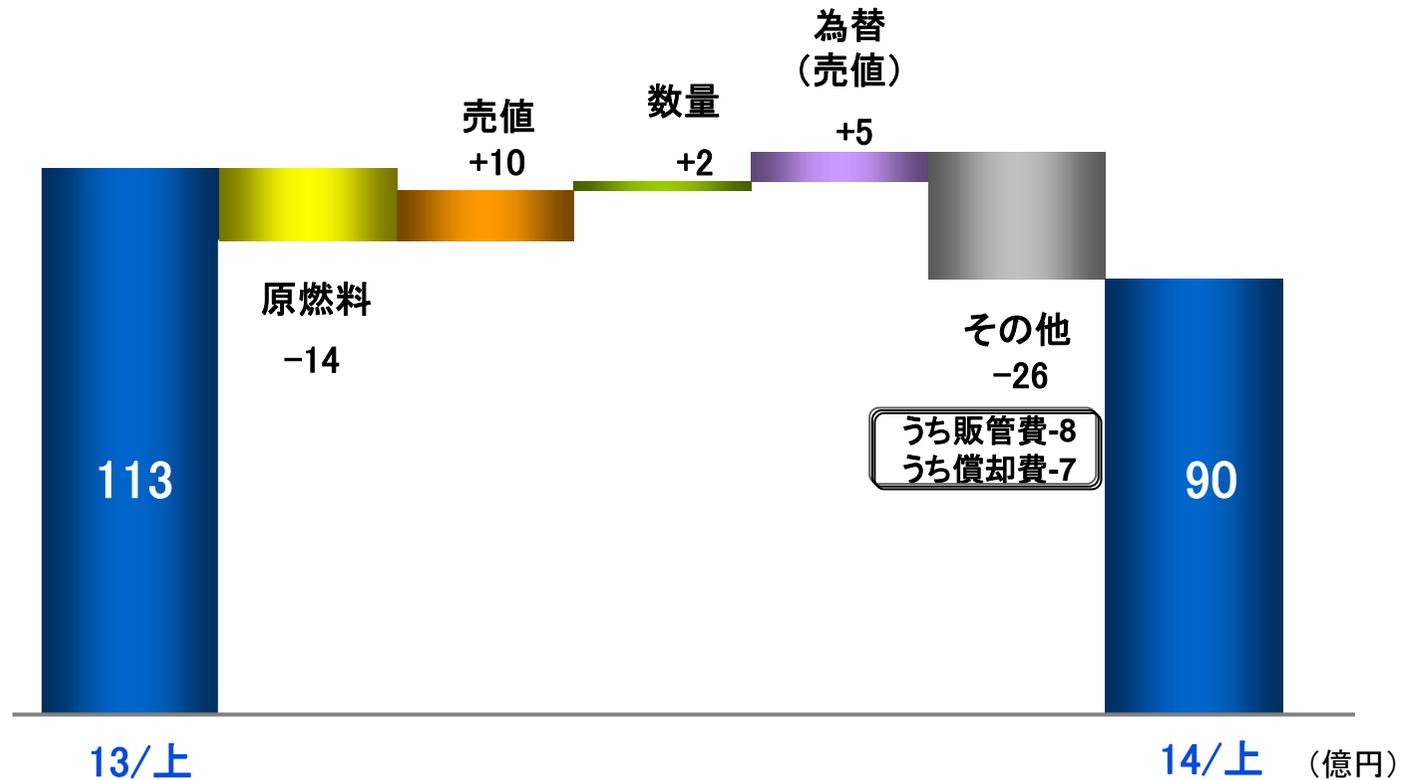
I . 2014年度第2四半期決算概況

(1) 決算概要 ①PL・CF

	(億円)					
	13上	13下	14上	前年同期比		直近見通し (2014/8)
				金額	率	
売上高	1,745	1,771	1,723	-22	-1.2%	1,750
営業利益	113	97	90	-22	-19.8%	110
(率)	6.5%	5.5%	5.2%	-	-	6.3%
経常利益	108	76	53	-55	-51.2%	100
うち持分法損益	3	-1	-22	-25		
当期純利益	52	30	26	-26	-49.7%	52
EPS(円)	5.8	3.4	2.9	-	-	5.9
減価償却費	68	73	75	+7	+10.7%	
設備投資	110	91	80	-30	-27.2%	
営業CF	170	70	85	-85	-50.0%	
為替レート(円/US\$)	99	101	103			
国産ナフサ価格(千円/KL)	65	70	71			

営業利益増減要因分析（前年同期比）

【13年度上期→14年度上期】



	13上	14上
円レート (¥/\$)	99	103
国産ナフサ (千円/kl)	65	71

②BS

	13/3末	14/3末	14/9末	(億円) 14/3末比 増減
総資産	4,474	4,563	4,517	-46
純資産	1,555	1,451	1,466	+15
自己資本	1,380	1,423	1,438	+14
(自己資本比率)	30.8%	31.2%	31.8%	
少数株主持分	175	28	29	+0
有利子負債	1,594	1,707	1,718	+11
D/E レシオ	1.16	1.20	1.20	

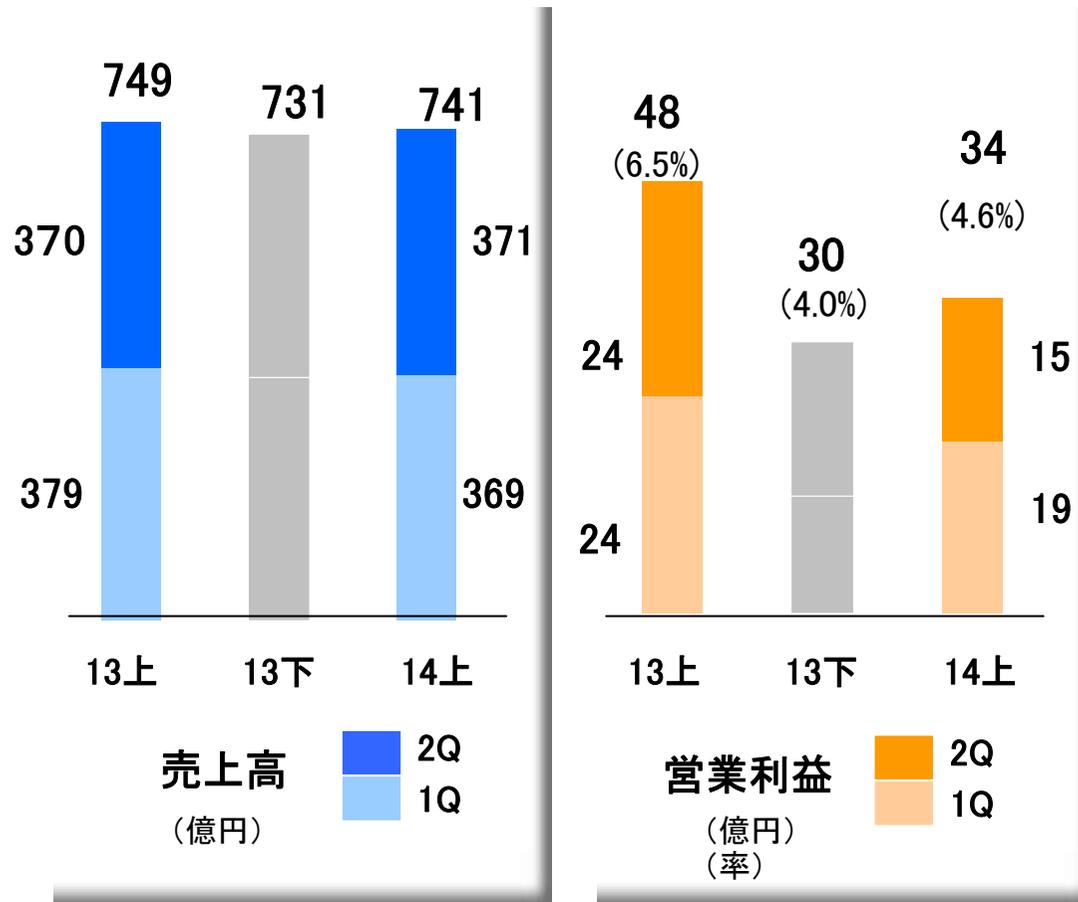
(2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比
	13上	13下	14上	13上	13下	14上	
フィルム・機能樹脂	749	731	741	48	30	34	-14
産業マテリアル	347	370	322	23	32	26	3
ライフサイエンス	131	143	141	26	25	23	-3
スペシャルティ計 (率)	1,226	1,244	1,204	98 8.0%	86 6.9%	84 6.9%	-14
衣料繊維	397	394	384	18	12	9	-8
不動産・その他	121	133	136	14	14	12	
消去・全社	-	-	-	-17	-15	-14	
合計	1,745	1,771	1,723	113	97	90	-22

① フィルム・機能樹脂

フィルムで、新設備への移管および新製品拡大に伴う費用増。
 加えて包装用が夏場の天候不順の影響などで苦戦



● 工業用フィルム

- ・新設備稼働に伴う移管費用増
- ・新製品の拡大に伴う試験費増

● 包装用フィルム

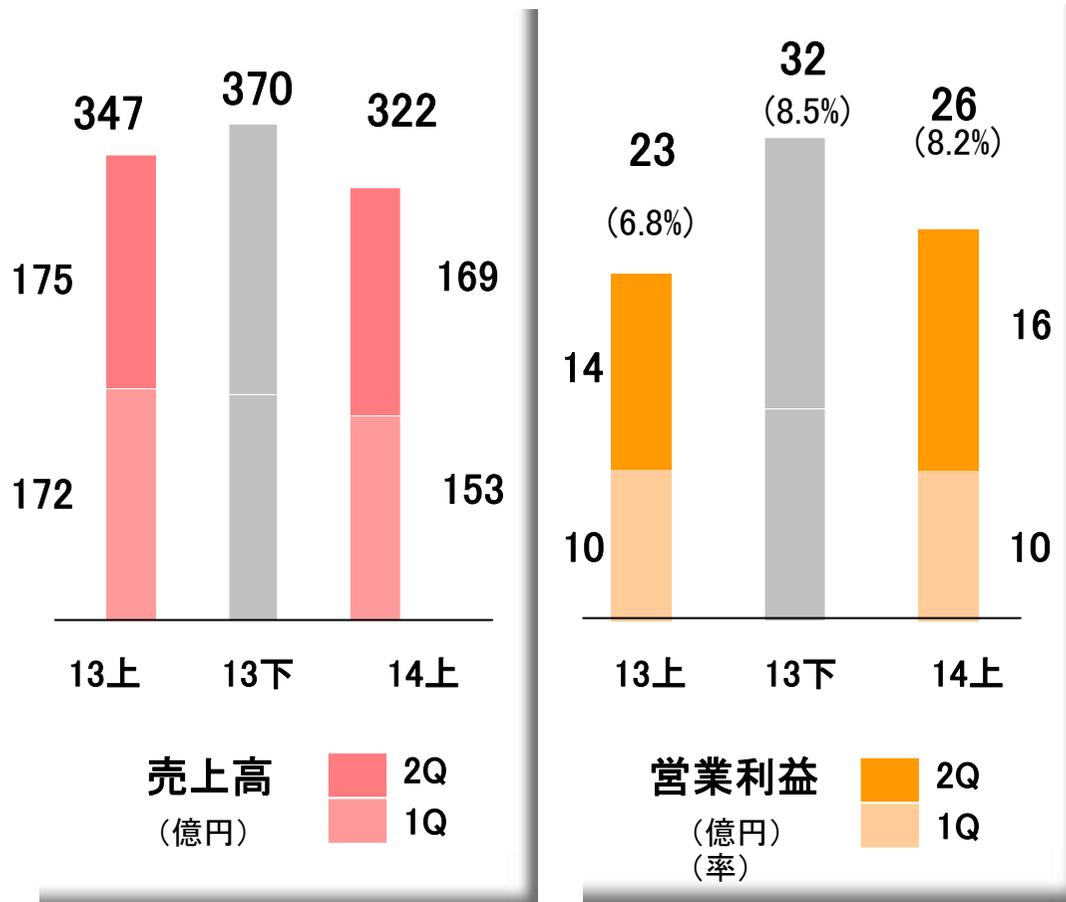
- ・天候不順により食品用で数量減
- ・2Q末より秋需もあり回復傾向

● 機能樹脂

- ・“バイロン”は、スマホ向け好調
- ・エンプラは、海外展開進捗
- ・光機能材料が海外で好調

② 産業マテリアル

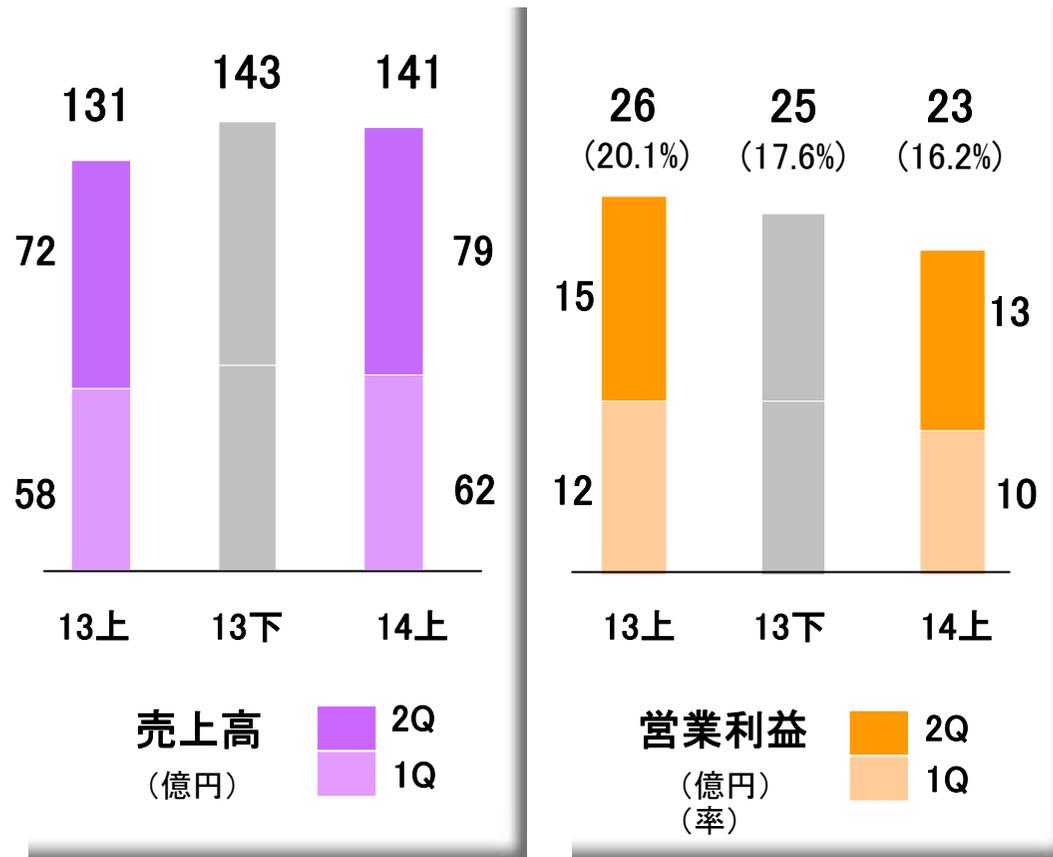
エアバッグ用基布は、原料高の影響で苦戦も、
機能性クッション材、自動車・土木建築用の不織布が好調。



- **自動車テキスタイル**
 - ・エアバッグは、受注は堅調
原料高の影響
- **スーパー繊維**
 - ・耐熱用途の“ザイロン”が堅調に推移
- **生活産業資材**
 - ・機能性クッション材“ブレスエアー”が
販売先を拡大し、出荷堅調
- **スパンボンド**
 - ・自動車・土木建築向けが好調

③ ライフサイエンス

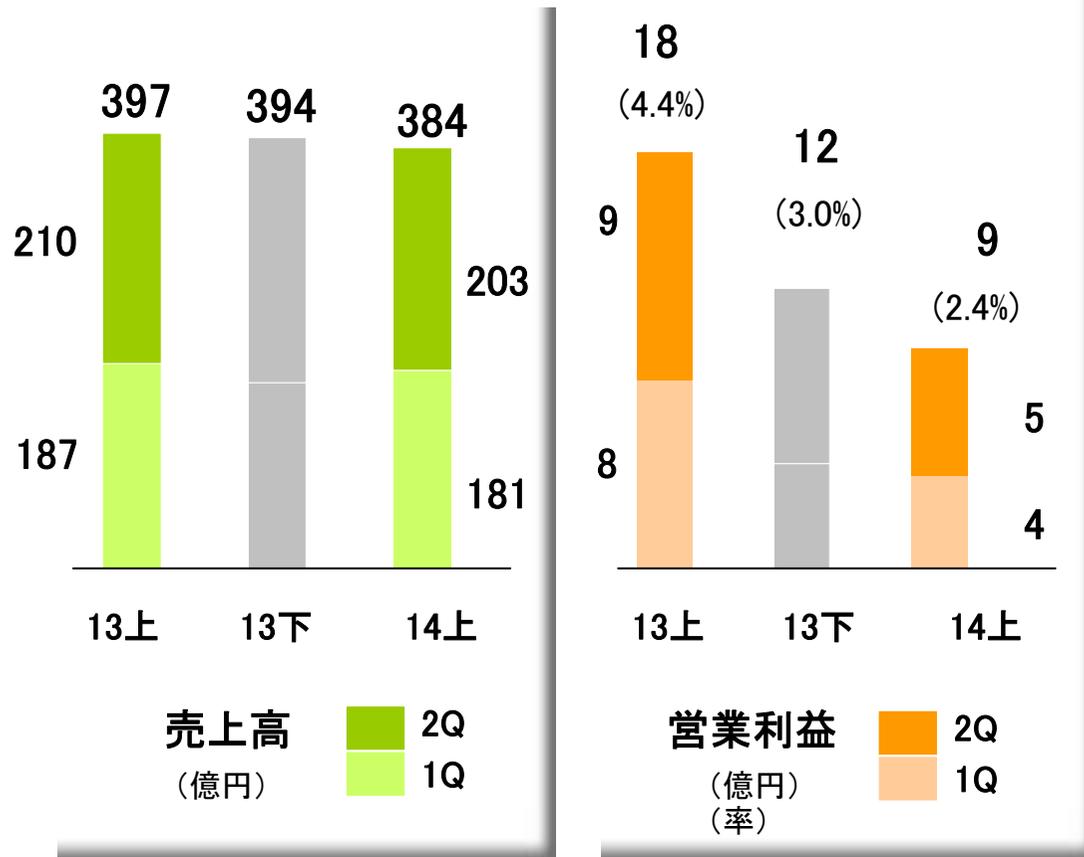
医薬が受託案件の延期影響あるも、診断薬用酵素が国内外で好調を維持。“ナーブリッジ”は着実に販売進捗。



- **バイオ**
 - ・診断薬用酵素が国内外で好調
- **医薬**
 - ・受託案件の延期影響
- **医療機器**
 - ・“ナーブリッジ”は、症例数増加
- **機能膜**
 - ・医用膜は、出遅れも回復傾向

④ 衣料繊維

中東向けは、流通在庫調整により販売量減少
 アクリル繊維は、中国市況の軟化と原料高の影響



● 東洋紡STC(繊維)

- ・中東向けトープは、流通在庫の調整により販売量減少

● 海外関係会社

- ・中南米事業の市況軟化

● アクリル繊維

- ・中国市況の悪化と原料高の影響を受け苦戦

Ⅱ. 2014年度業績予想

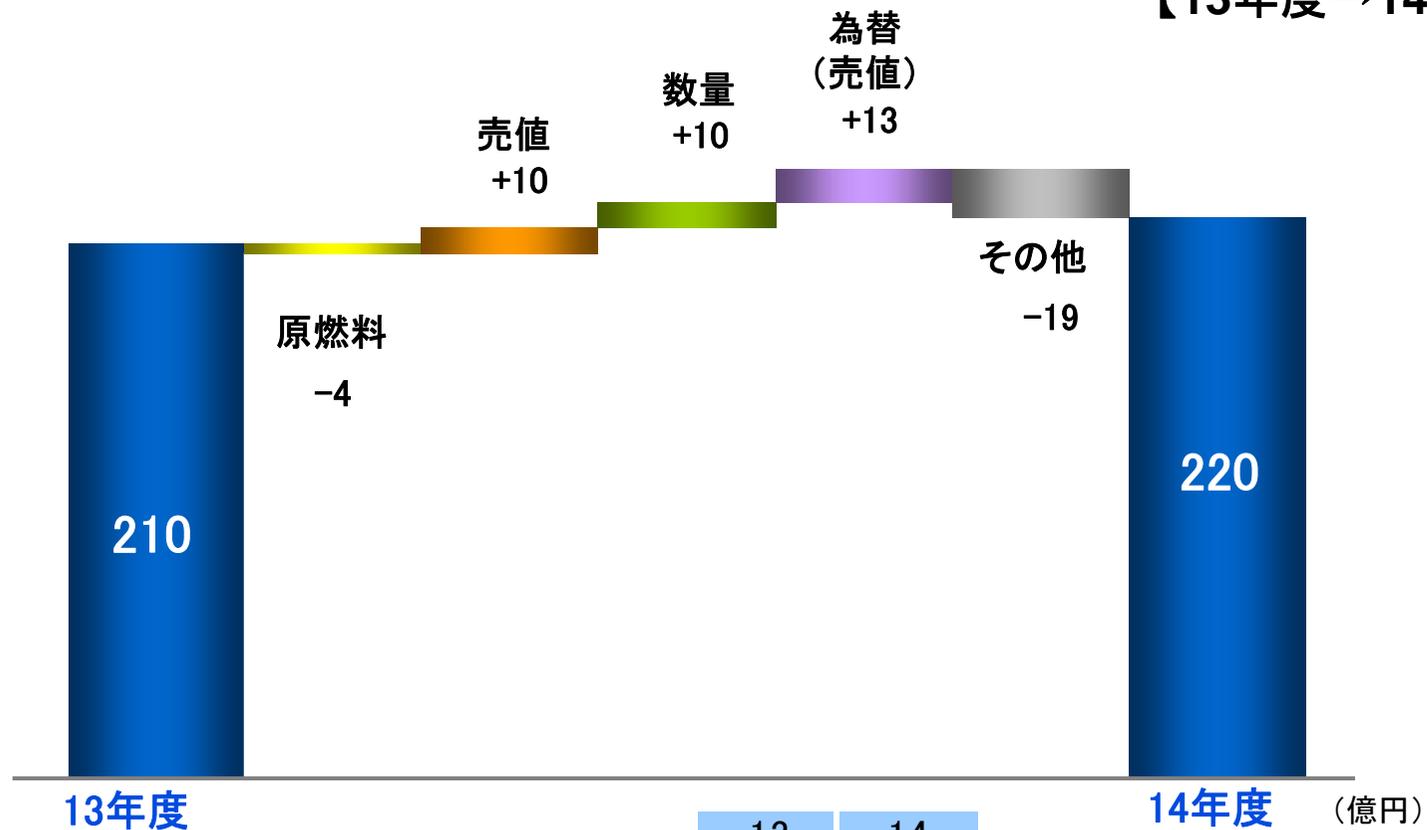
(1) 業績予想

(億円)

	13年度実績	14年度予想			増減		直近見通し (2014/8)
		上	下		金額	率	
売上高	3,516	1,723	1,877	3,600	+84	+2.4%	3,650
営業利益	210	90	130	220	+10	+4.7%	240
(率)	6.0%	5.2%	6.9%	6.1%	-	-	6.6%
経常利益	184	53	112	165	-19	-10.5%	215
当期純利益	82	26	59	85	+3	+4.2%	110
EPS(円)	9.2	2.9	6.6	9.6	-	-	12.39
減価償却費	140	75	75	150	+10	+6.9%	150
設備投資	201	84	96	180	-21	-10.3%	180
為替レート(円/US\$)	100	103	108	106			101
国産ナフサ価格(千円/KL)	67	71	66	68			71

営業利益増減要因予想

【13年度→14年度】



	13	14
円レート (¥/\$)	100	106
国産ナフサ (千円/kl)	67	68

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2014/08)
	13年度	14年度予想			13年度	14年度予想			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,480	741	789	1,530	78	34	46	80	90
産業マテリアル	717	322	398	720	55	26	39	65	65
ライフサイエンス	273	141	164	305	51	23	35	58	60
スペシャルティ計 (率)	2,470	1,204	1,351	2,555	184 7.5%	84 6.9%	120 8.9%	203 8.0%	215 8.3%
衣料繊維	791	384	396	780	30	9	13	22	35
不動産・その他	254	136	129	265	27	12	13	25	25
消去・全社	-	-	-	-	-31	-14	-16	-30	-35
合計	3,516	1,723	1,877	3,600	210	90	130	220	240

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社